

# 在宅医療に関する意識調査

県医師会に所属する医師（A・B会員）3,788名を対象に、在宅医療に関する意識調査を行った。回収数は1,300名、回収率は34%であった。

（調査項目）

## ①基本情報

年齢、所属医師会、従事施設、立場、診療科、往診・訪問診療を現在行っているか

## ②在宅医療に関する意識調査

在宅医療について関心の有無、患者家族の立場として在宅医療への関わり、在宅医療の普及と目的、阻む要因とその対策について 等

## ③在宅医療に関する診療報酬改定（H26年度）についての意見(自由記載)

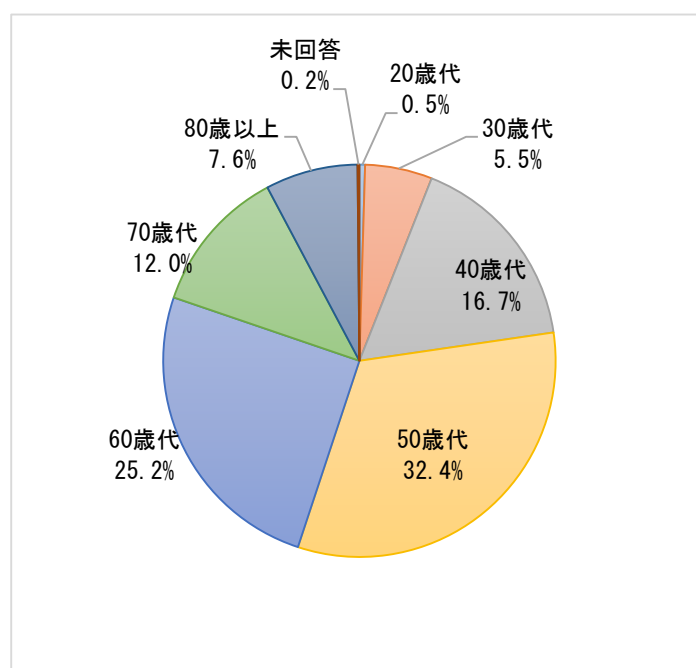
配布先	配布数	回収数	回収率
医師（県医師会A・B会員）	3,788	<b>1,300</b>	34%

## 1.基本情報

### 1) あなたの年齢をお選び下さい。

回答した医師の年齢は、50歳代が32.4%と最も多く、ついで60歳代が25.2%、40歳代が16.7%だった。20歳代が最も少なく0.5%となった。（図1-1）

図1-1 年齢構成比（n=1,300）



## 2) 所属医師会

全体の構成比は鹿児島市 44.9%と多く、次に始良地区医師会が 10%、鹿屋市 5.6%、鹿大医学部 4.7%であった。(図 1-2-1)

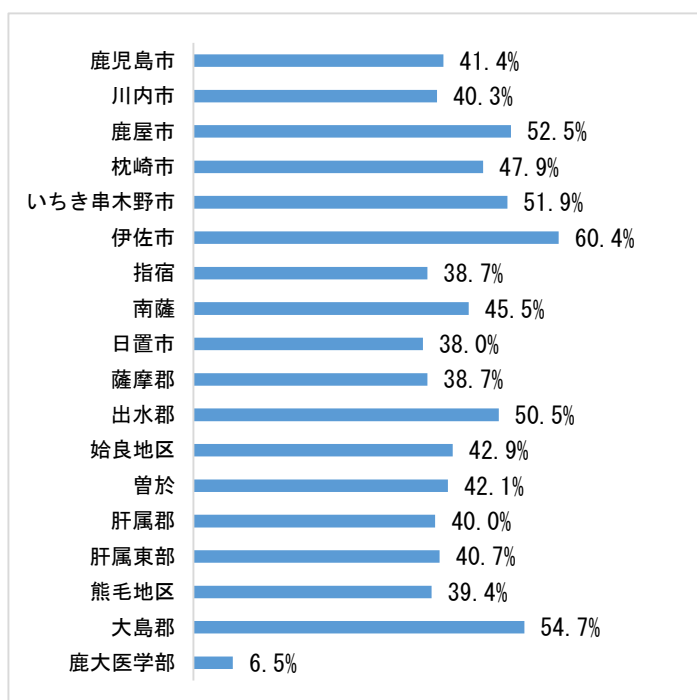
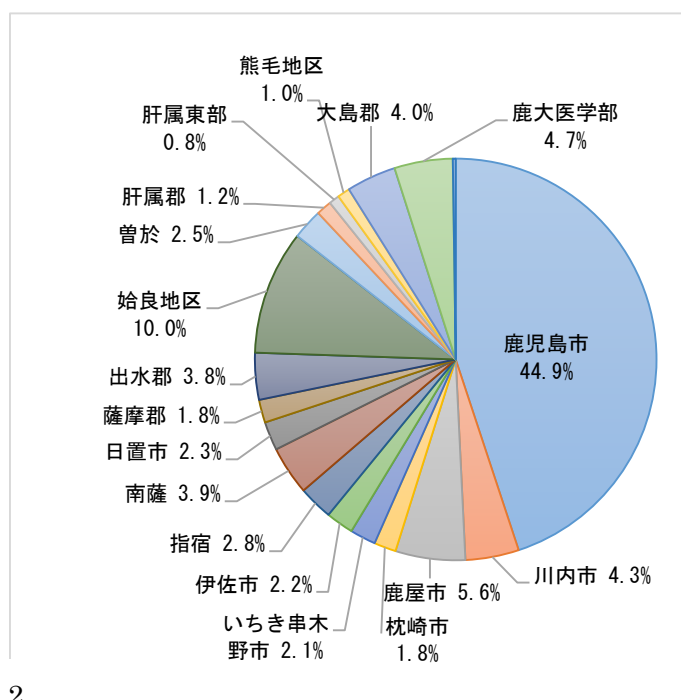
また、医師会別の回答率は、伊佐市 60.4%、大島郡 54.7%、鹿屋市 52.5%、いちき串木野市 51.9%、出水郡 50.5%が半数以上の回答があった。(図 1-2-2)

表 1-2-1

◆所属医師会	回答数	全体比率 (n=1300)	会員数	医師会別 回答率
鹿児島市	584	44.9%	1412	41.4%
川内市	56	4.3%	139	40.3%
鹿屋市	73	5.6%	139	52.5%
枕崎市	23	1.8%	48	47.9%
いちき串木野市	27	2.1%	52	51.9%
伊佐市	29	2.2%	48	60.4%
指宿	36	2.8%	93	38.7%
南薩	51	3.9%	112	45.5%
日置市	30	2.3%	79	38.0%
薩摩郡	24	1.8%	62	38.7%
出水郡	49	3.8%	97	50.5%
始良地区	130	10.0%	303	42.9%
曾於	32	2.5%	76	42.1%
肝属郡	16	1.2%	40	40.0%
肝属東部	11	0.8%	27	40.7%
熊毛地区	13	1.0%	33	39.4%
大島郡	52	4.0%	95	54.7%
鹿大医学部	61	4.7%	933	6.5%
不明	3	0.2%		
	<b>1300</b>		<b>3788</b>	

図 1-2-1 全体に対する所属医師会回答構成比

図 1-2-2 医師会別回答率



3) 現在従事している施設 4) 現在勤務している医療機関における立場

現在従事している施設をたずねたところ、病院が 39.2%、診療所が 54.8%、介護施設が 2.5%であった。(図 1-3)

また、現在勤務している医療機関における立場は、開設者・管理者が 60.0%、常勤医が 30.8%、非常勤医が 6.5%であった。(図 1-4)

図 1-3 (n = 1300)

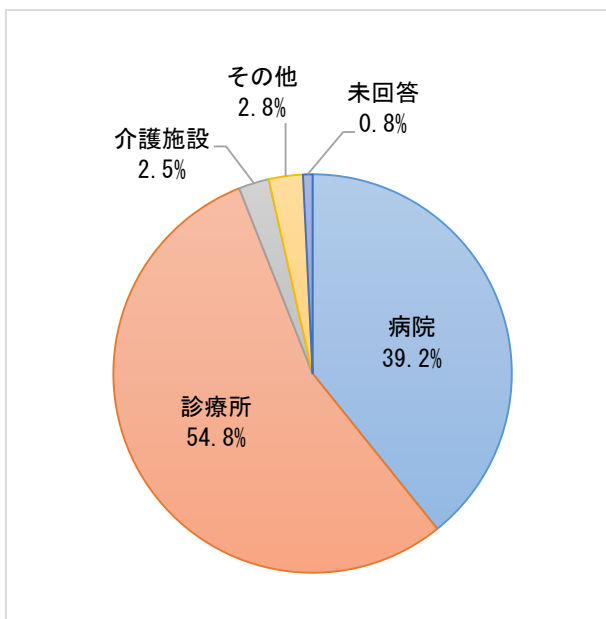
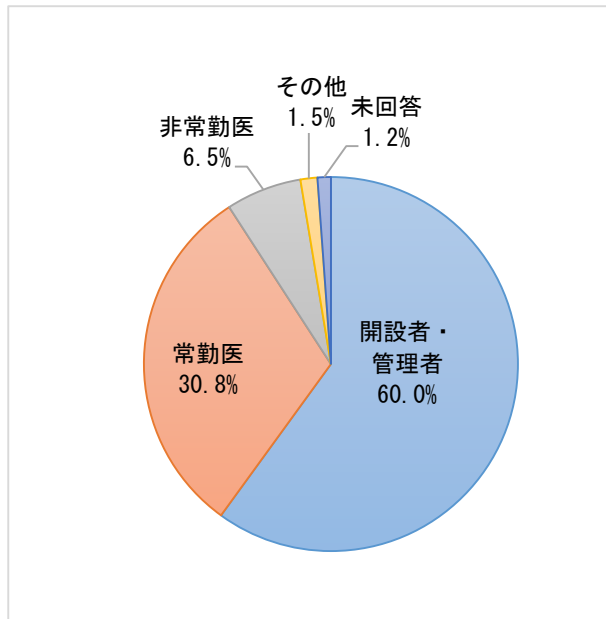
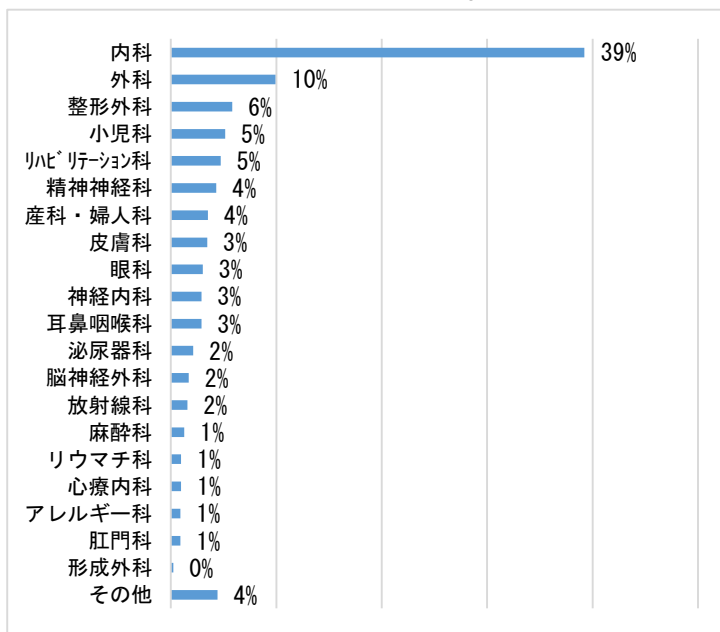


図 1-4 (n = 1300)



5) 担当する主な診療科

図 1-5 (N = 1652、複数回答)



### 6) 往診・訪問診療を行っているか

現在、往診・訪問診療を行っているかをたずねたところ、「往診のみ行っている」と答えた医師が 16.2%、「往診・訪問診療、両方行っている」と答えた医師が 27.1%、「どちらも行っていない」と答えた医師は半数を超える 54.8%であった。また、「訪問診療のみ」を行っている医師は 1.3%であった。(図 1-6-1)

図 1-6-1 往診・訪問診療を行っているか (n = 1300)

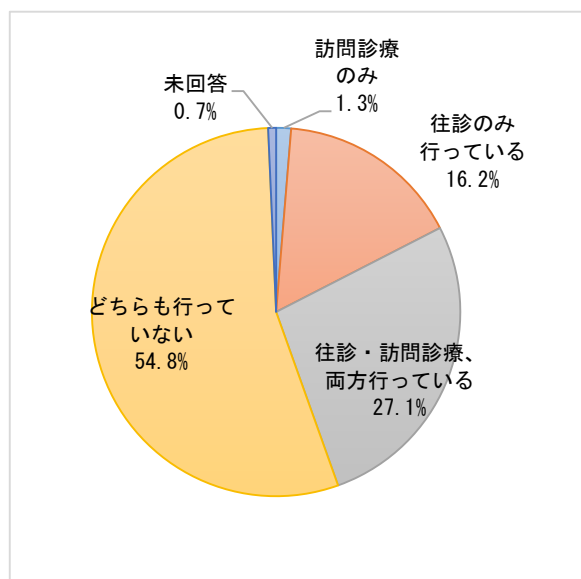
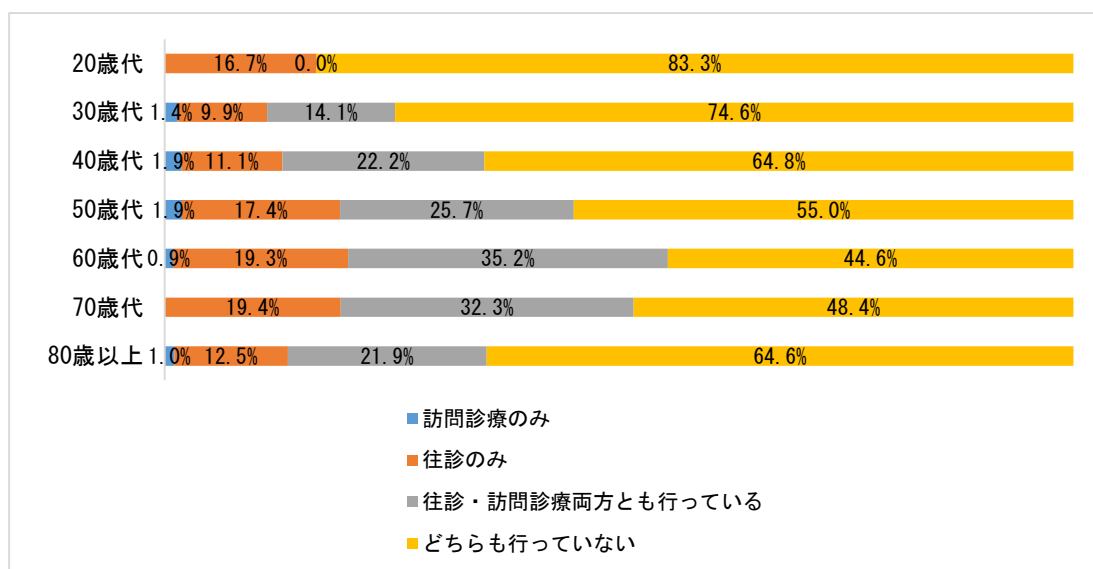


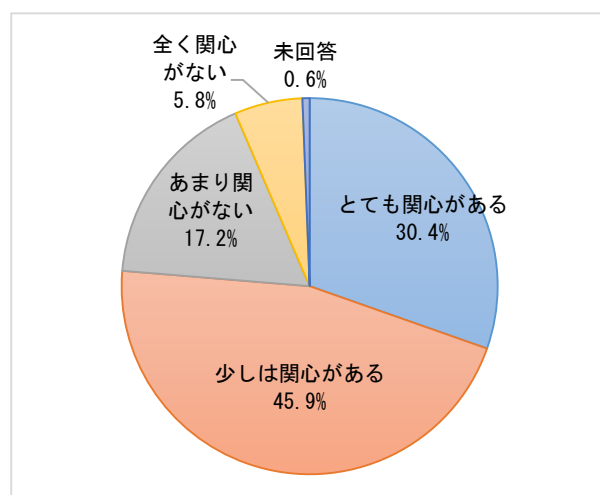
図 1-6-2 年代別(n=1291)



### 7) 在宅医療についての関心があるか

在宅医療について関心があるかについての設問では、「とても関心がある」が30.4%、少しは関心がある」が45.9%と75%以上の方が在宅医療に関心があると答えた。また「あまり関心がない」17.2%「全く関心がない」5.8%と2割が「関心がない」と答えた。

図 2-1 在宅医療についての関心 (n = 1300)

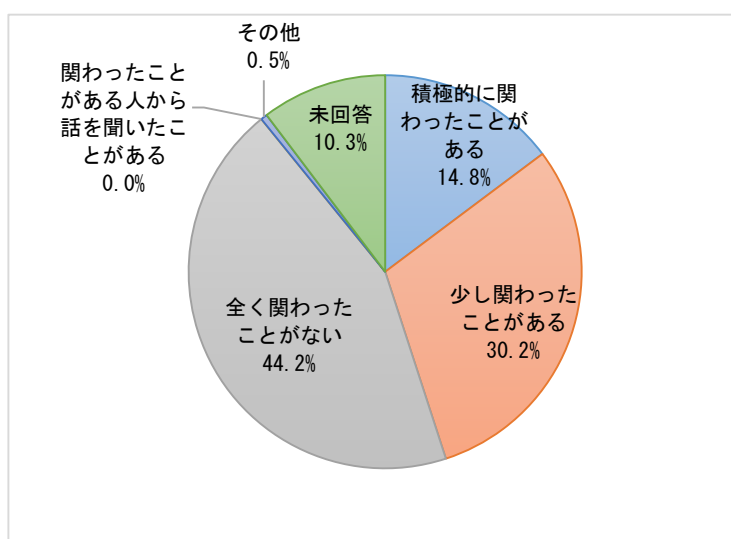


### 8) 患者家族の立場として在宅医療に関わったことがあるか

「積極的に関わったことがある」14.8%、「少し関わったことがある」30.2%とあわせて45%の医師が患者家族の立場として何らかの形で在宅医療に関わったことがあると回答した。

また、半数近く 44.2%の医師が「全く関わったことがない」と回答した。

図 2-2 患者家族の立場としての関わり (n = 1300)

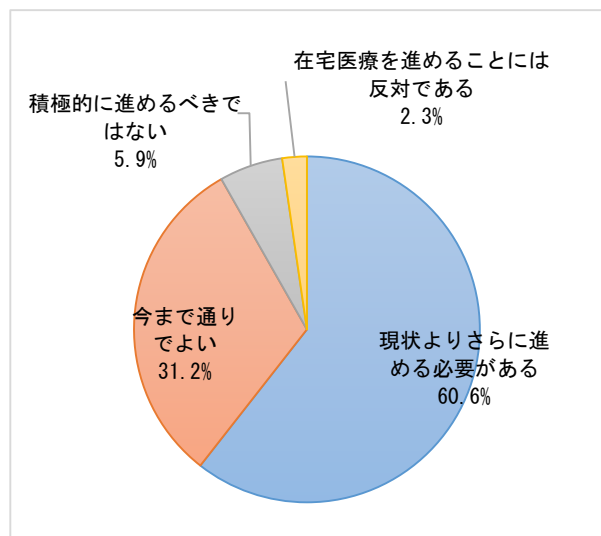


### 9) 在宅医療は今後さらに普及されるべきだと思いますか

在宅医療は今後さらに普及されるべきかという問いに対しては、60.6%の医師が「現状よりさらに進める必要がある」と回答した。

また「今まで通りでよい」31.2%「積極的に進めるべきではない」5.9%「在宅医療を進めることには反対である」2.3%と、約4割が在宅医療の普及に対し積極的でない回答があった。

図 2-3 在宅医療は今後さらに普及されるべきだと思うか (n = 1263)



回答した理由として、「現状よりさらに進める必要がある」では、住み慣れた自宅で終末期を迎えることが最良である、自宅を望む人が多い、など患者家族の価値観を重視する意見や、在宅希望者増加や将来の受け皿不足のため在宅医療体制を推進する必要があるとの意見が多かった。

「今まで通りでよい」では、入院医療と在宅医療のバランスの懸念や、人材不足・人材確保が難しい、介護者の問題があるため現状より進めるべきではないとの意見が多かった。

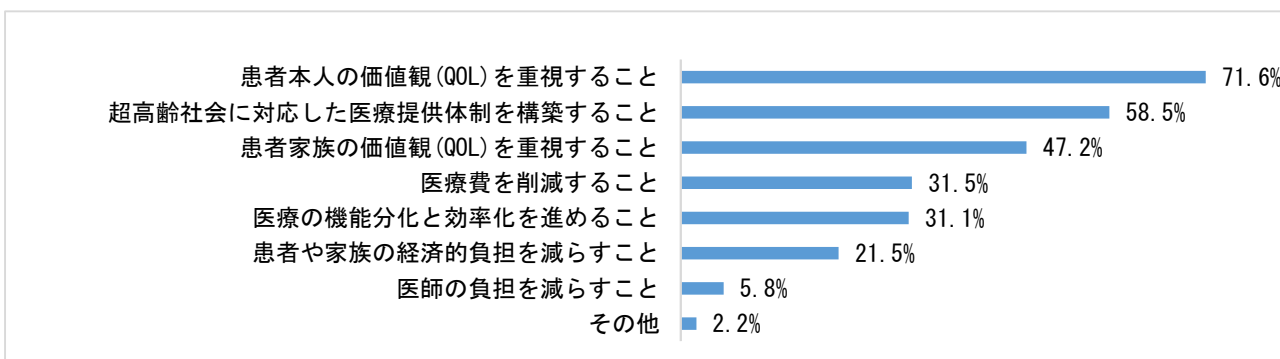
「積極的に進めるべきではない」「在宅医療を進めるには反対である」では、人材不足・介護者の問題が多く理由として挙げられた。

全体として、今後在宅医療の需要が高まり、患者家族の希望を尊重し住み慣れた自宅で過ごせる体制を推進すべきだが、現状では医療介護従事者の人材不足、介護する家族がいない、介護者の負担増など問題があり推進は難しいとの意見が多数だった。

10) 在宅医療の目的はなんだと思いますか【複数回答】

在宅医療の目的については、「患者本人の価値観（QOL）を重視すること」71.6%が最も多く、「超高齢社会に対応した医療提供体制を構築すること」58.5%、「患者家族の価値観（QOL）を重視すること」47.2%の順に多く、「医師の負担を減らすこと」と答えた医師は5.8%と少なかった。（図 2-4）

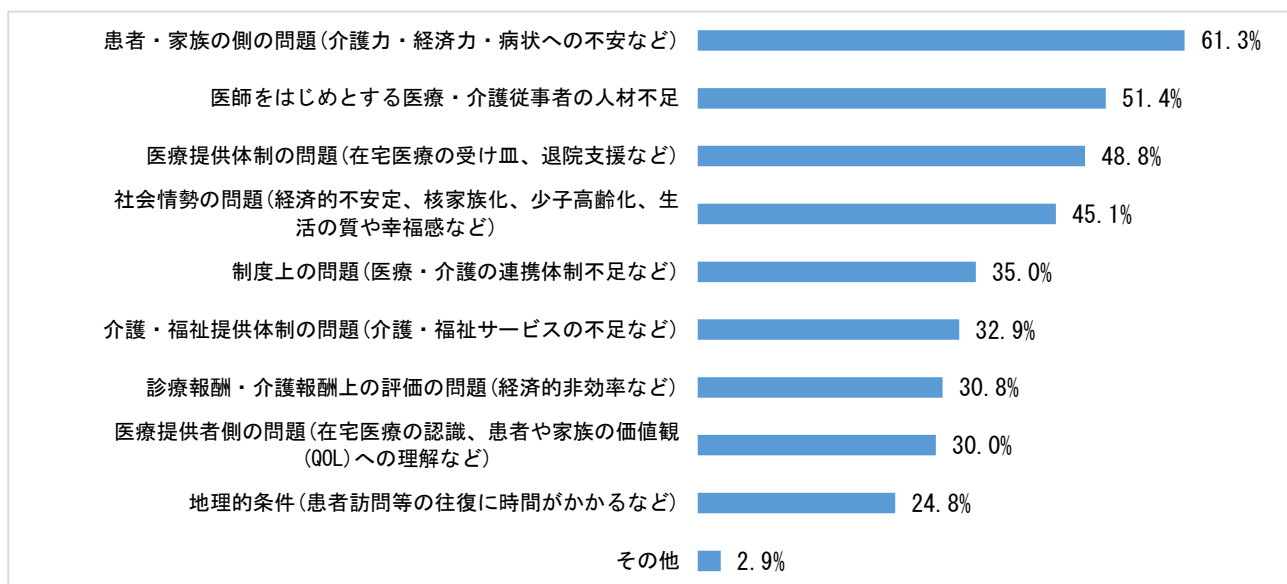
図 2-4 在宅医療の目的（n = 1300、複数回答）



11) 在宅医療の普及を阻む要因となっているものは何だと思いますか【複数回答】

在宅医療の普及を阻む要因となっているものについては、「患者・家族の側の問題」が61.3%と最も多く、ついで「医師をはじめとする医療・介護従事者の人材不足」が51.4%、「医療提供体制の問題」48.8%、「社会情勢の問題」45.1%と、在宅医療を支える患者家族や医療・介護従事者の負担増や人的不足を挙げる回答が多かった。（図 2-5）

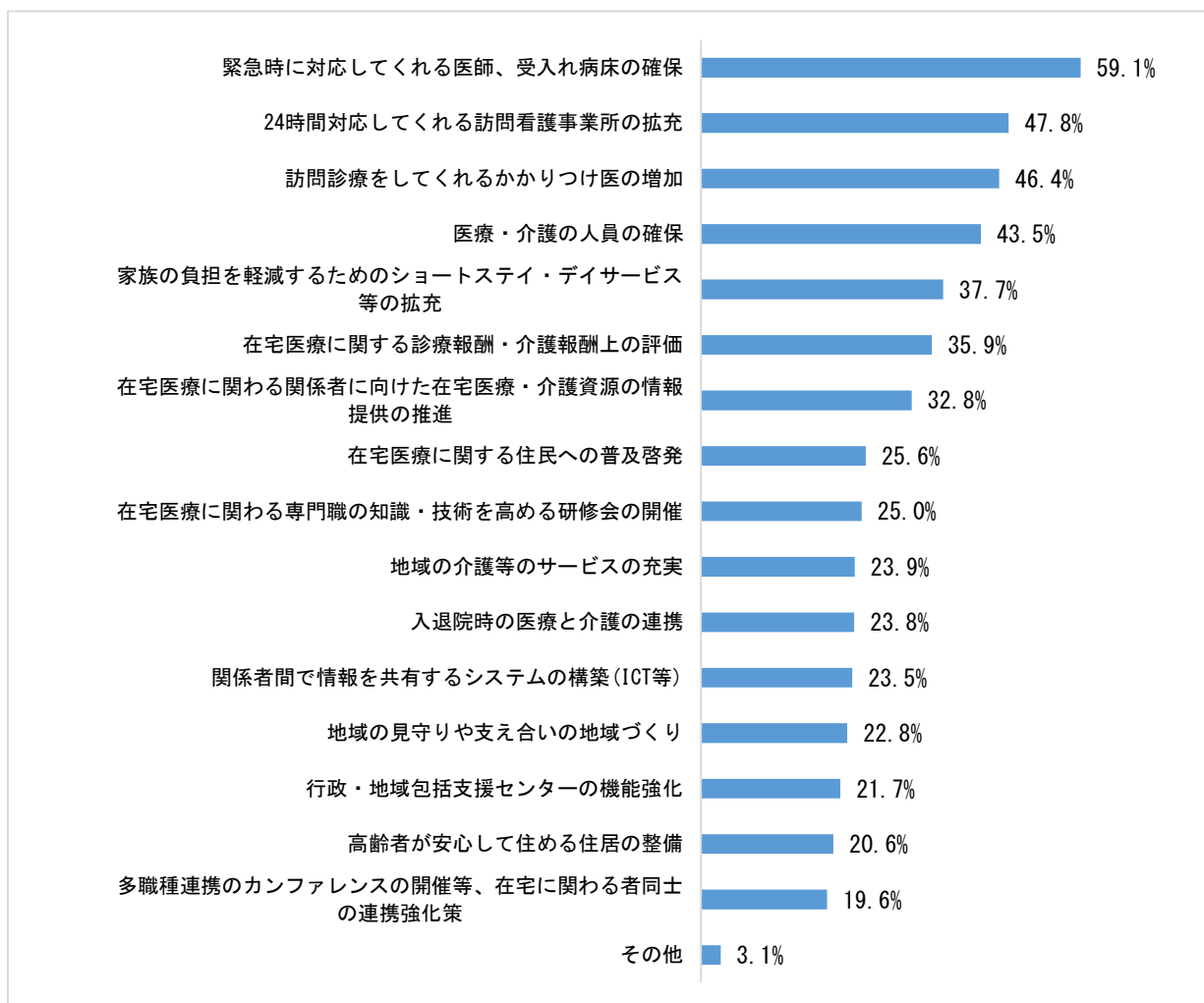
図 2-5 在宅医療の普及を阻む要因について（n = 1300、複数回答）



## 12) 今後在宅医療が普及するためにはどのような対策が有効だと思いますか

今後、在宅医療が普及するための対策については、「緊急時に対応してくれる医師、受け入れ病床の確保」が59.1%で最も多く、次いで「24時間対応してくれる訪問看護事業所の拡充」47.8%、「訪問診療してくれるかかりつけ医の増加」46.4%、「医療・介護の人員の確保」43.5%と、在宅医療を支える体制を整える必要があるとの回答が多かった。(図 2-6)

図 2-6 今後在宅医療を普及するためにはどのような対策が有効か(n=1300)

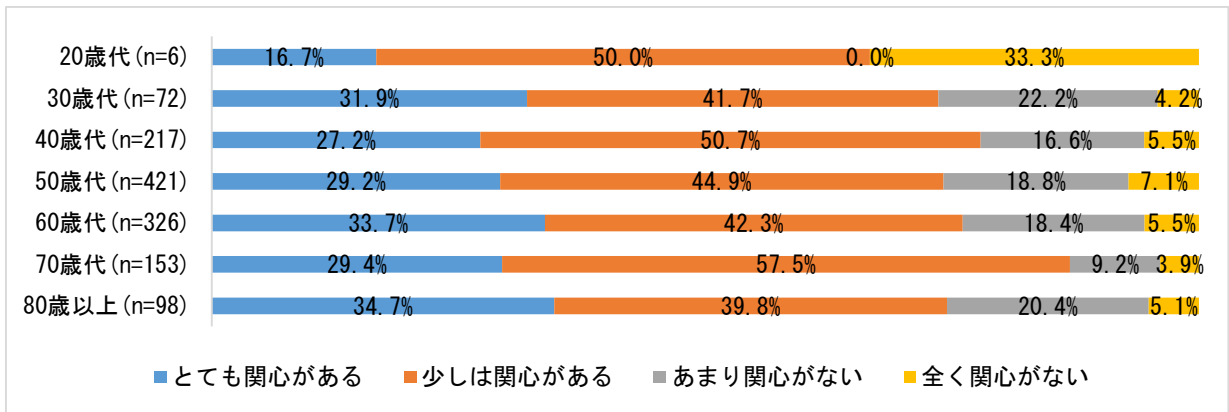




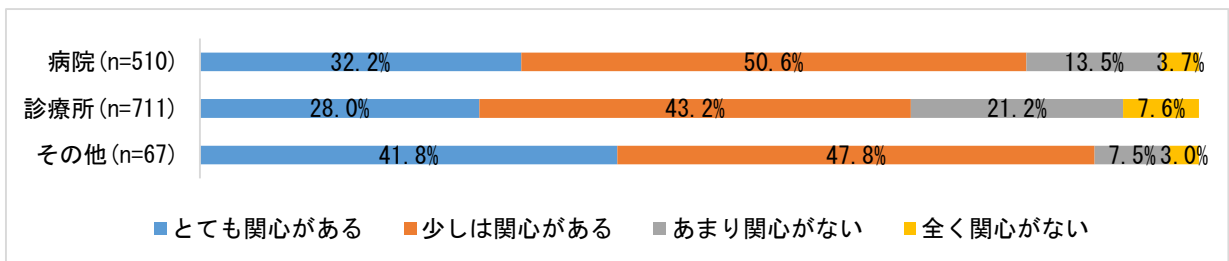
## 参 考

### 問 7 在宅医療について関心がありますか（在宅医療に関する関心度）

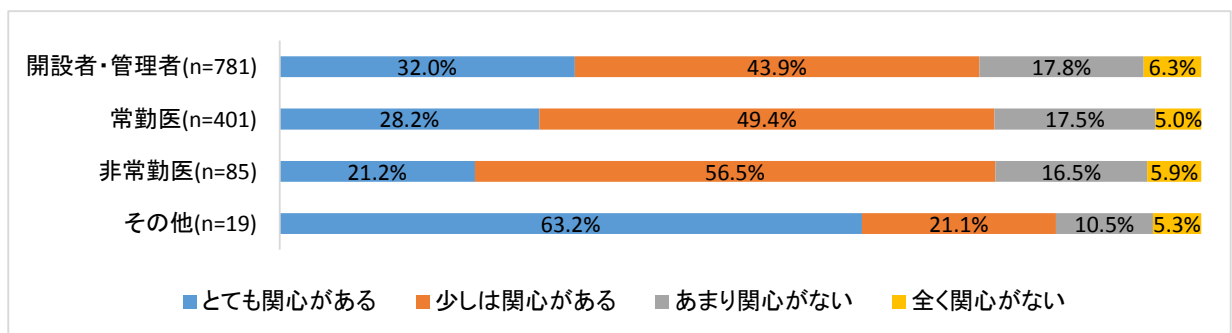
（年代別） n=1293



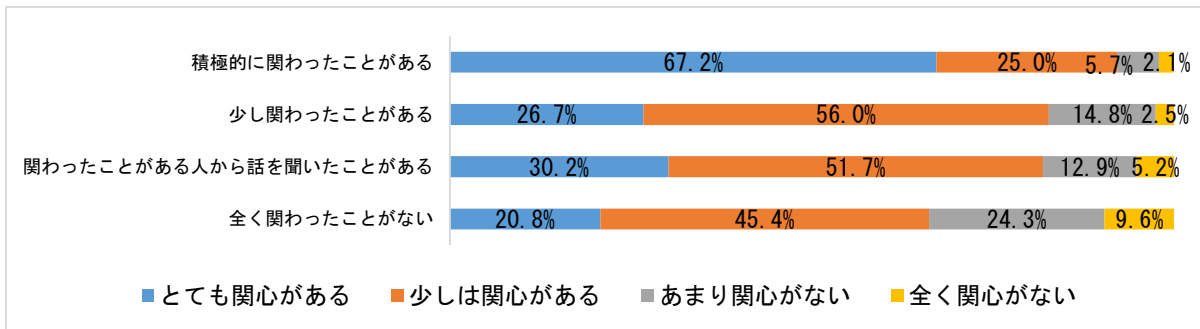
（従事施設別） n=1288



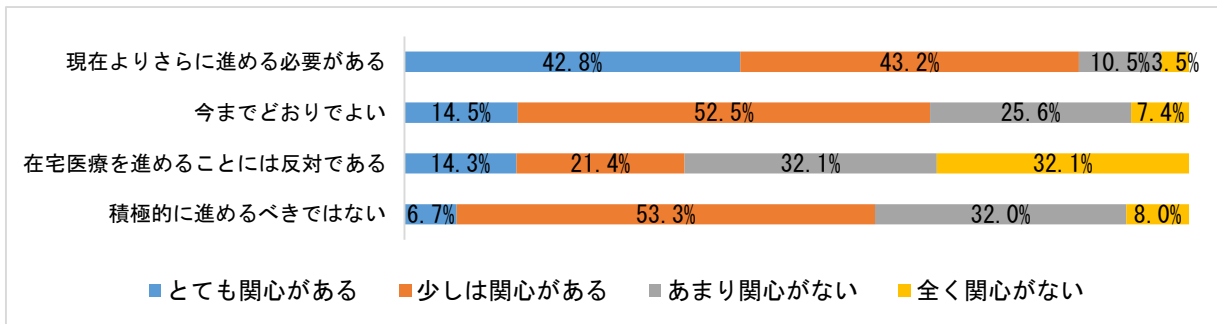
（立場） n = 1286



**(問 8 患者家族の立場として在宅医療に関わったことがありますか) n=1274**

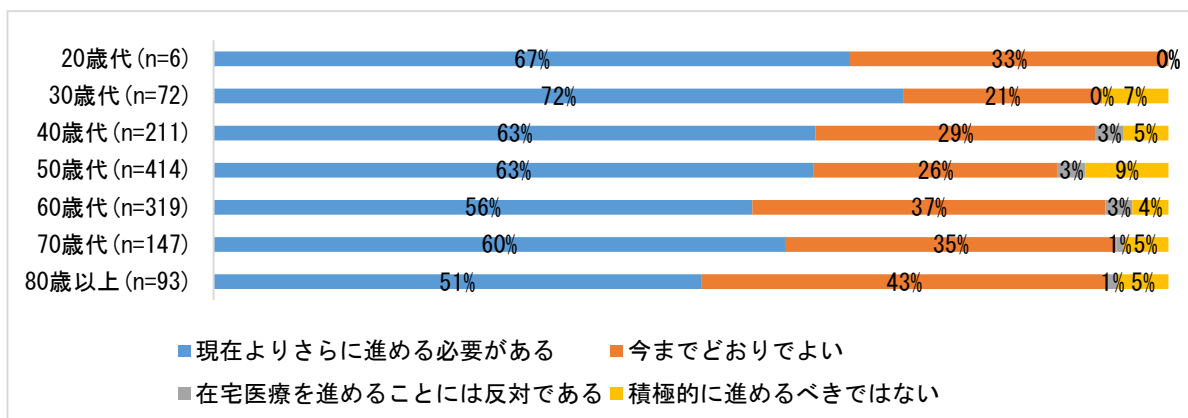


**(問 9 在宅医療は今後さらに普及されるべきだと思いますか) n=1261**

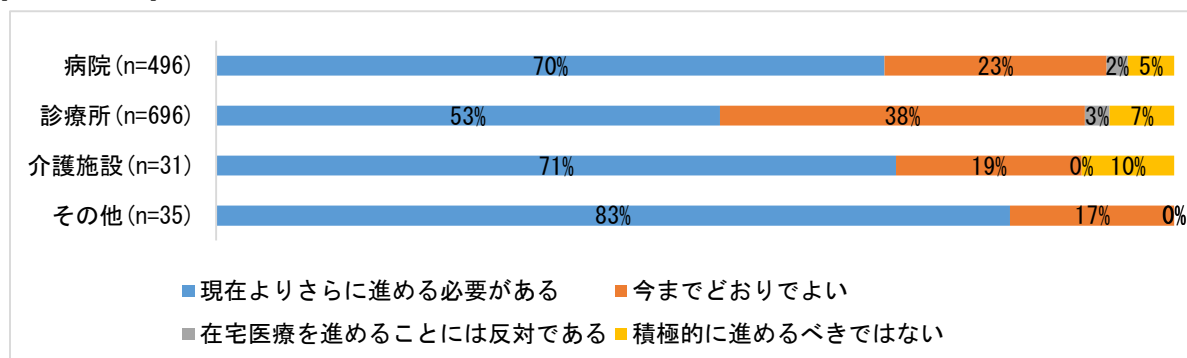


## 問 9 在宅医療は今後さらに普及されるべきだと思いますか。

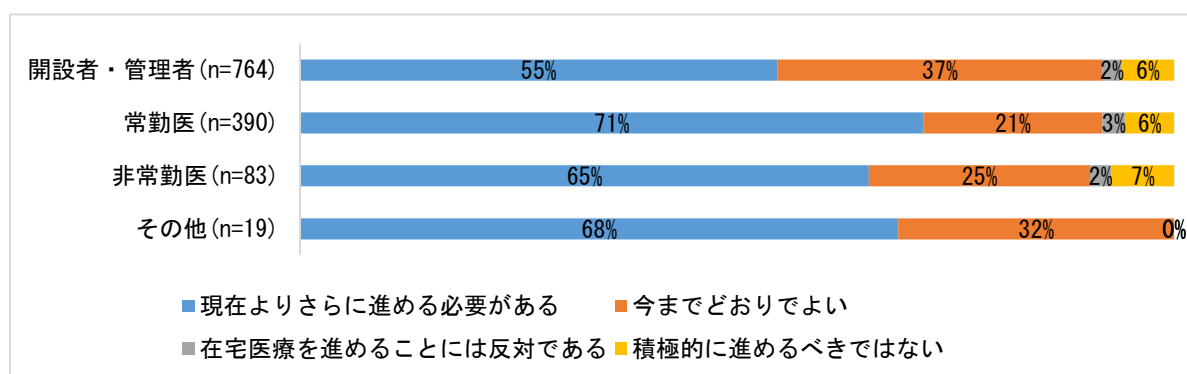
(年齢) n = 1262



(従事施設別) n = 1258

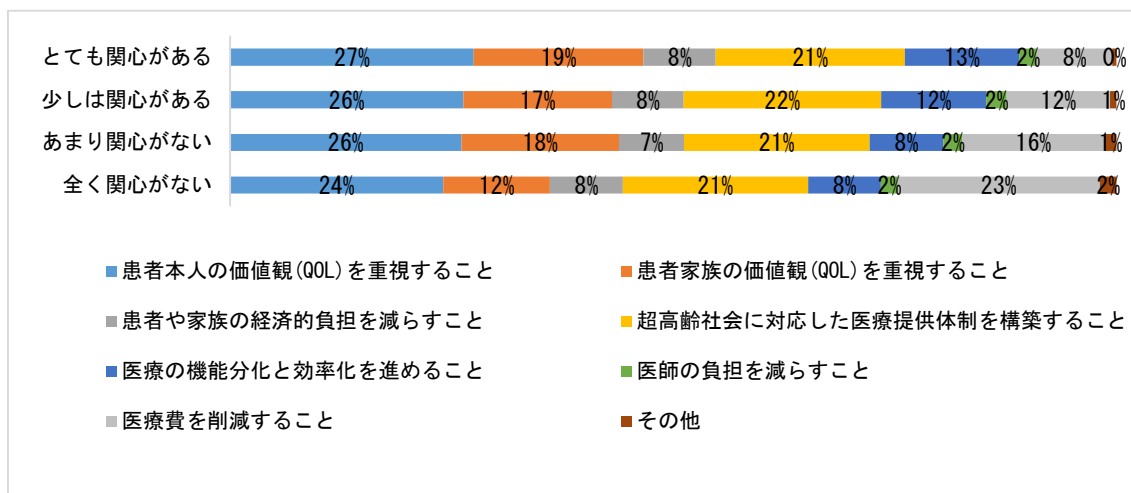


(立場) n = 1256



## 問 10 在宅医療の目的はなんだと思いますか。

(問 7 在宅医療について関心がありますか) n = 1286



(問 9 在宅医療は今後さらに普及されるべきだと思いますか) n = 1258

